

議案審議で討論

定例会最終日、平成26年度決算認定と議案についてそれぞれ1名が討論を行いました。その内容を要約して掲載します。

平成26年度決算認定

等の流動的経費の増により、一般会計・特別会計を合わせた単年度収支では、2億8209万6千円の赤字となっている。しかし、一般会計での歳入構成割合は、依存財源110億7106万9千円、自主財源が75億8866万1千円となり、自主財源の割合が前年度に

自主財源向上を評価

賛成 大野 晴美議員（新緑会）

本会計年度は、昨年同様、

地方交付税の減収、除雪費

自主財源の割合が前年度に

議案に対する議員の賛否一覧表

(賛否が分かれたものについて掲載)

音更町議会では、議員個々の考え方や活動に透明性を持たせ、町民の皆さんに周知を図るため、本会議で審議された議案に対する賛否の状況を掲載しています。

○=賛成 ×=反対

議案等 氏名	議案第4号 音更町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例案	議案第5号 音更町手数料条例の一部を改正する条例案
	大野 晴美	○
方川 克明	○	○
山川 光雄	○	○
堀江 美夫	○	○
大浦 正志	×	×
神長 基子	×	×
重堂 登	×	×
守屋いつ子	×	×
加藤 治夫	○	○
平山 隆	○	○
坂本 夏樹	○	○
榎本 基	○	○
久野 由美	○	○
松浦 波雄	○	○
鴨川 清助	○	○
山本 忠淑	○	○
宮村 哲	○	○
高瀬 博文	○	○
佐藤 和也	○	○
小野 信次(議長)	—	—

※議長は表決に参加しないため空欄

比べ3・9ポイント向上したことは評価できる。歳入のうち寄附金は、平成25年度は1586万4千円であったが、26年度は「ふるさと寄附金」が1億9千万円あまりになるなど、その努力が認められる。今後も継続的な歳入となるよう、リビ

ーターの確保等、本町の魅力発信についての努力を求める。少子高齢化が進む中、多様化する行政課題に対応するためにも、収入未済額の縮減に努め、公平性と貴重な財源を確保し、自主性の高い町政運営を図っていただきたい。

議案第4号 音更町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例案

反対

プライバシーが侵害

大浦 正志議員（日本共産党）

行政側からすれば、国民の所得、社会保障給付の状況を効率よく把握できる半面、国民にとっては分散していた個人情報の収集を容易にする。個人番号がひとたび外部に漏れ出せば、悪用され、プライバシーが侵害される危険性が大きくなる。国民の支持や理解が広がらない制度を急ぐ必要はなく、延期しても国民に不利はない。法で定まった制度とはいえ、個人番号の

請願・陳情の審査結果

区分	件名	提出者	審査委員会	結果
請願第1号	義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現及び就学保障充実など教育予算確保・拡充に向けた意見書の提出を求める件	大通10丁目3番地8 連合北海道音更地区連合会 会長 島 弘 之	総務文教 常任委員会	採択

活用は自治体の判断であり、本町は利用しないという判断をすべきである。